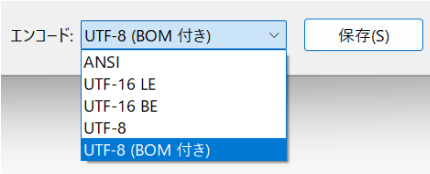
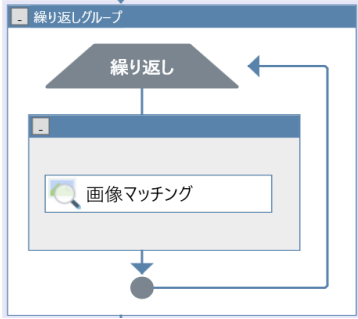
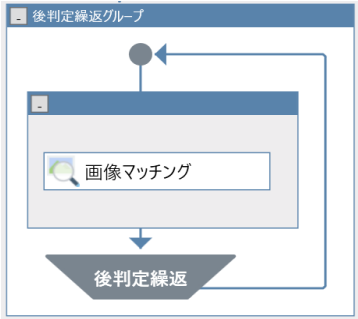
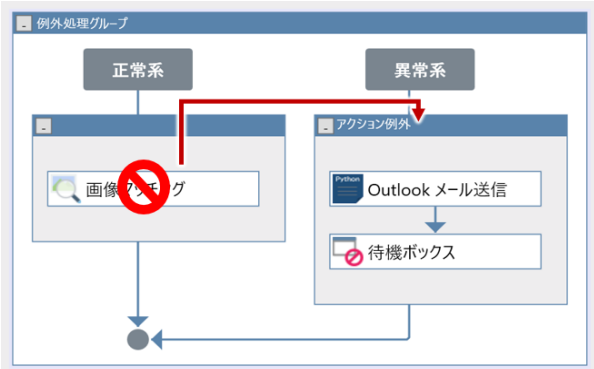


WinActor初級者セミナーQ&A（2026/7/28開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
1	Excel操作	Microsoft365Excelでのcsvデータ読み込み設定を教えてください。	・ Microsoft365上のExcelファイルの操作を行うサブシナリオをご用意しています。 各部品の設定方法を「WinActor サブシナリオサンプル説明書」に記載しています。 ・ 「18_Excel関連」ライブラリでURLパス*を指定して操作も可能です。 ・ CSV読み込み時の注意点（文字化け対策） ・ CSVの文字コードは「Shift-JIS」または「BOM付きUTF-8」を推奨します。 ・ BOMなしUTF-8はExcelで開くと文字化けすることがあります。 ・ 文字化けする場合は、メモ帳などで文字コードを変換してください。  *URLパスの例) https://<tenant>.sharepoint.com/sites/業務サイト/Shared Documents/売上管理.xlsx
2	ブラウザ操作	Edge操作でのXpathの取得方法・フレームの見つけ方、ファイルダウンロード時の名前を付けて保存のやり方を教えてください。(画像で判断?)	XPath取得方法 ・ WinActorの自動記録モードでの記録が最も簡単です。 ・ 手動取得する場合は開発者ツール(Ctrl+Shift+C)を起動し、対象要素を右クリックして→「コピー>XPathをコピー」を選択します。 フレームの見つけ方 ・ Ver.7.5以降の自動記録なら、フレーム情報を自動で記録してくれます。 ・ 開発者ツールで Ctrl+F → 検索欄に「frame」「iframe」を入力してヒットすればフレーム構造です。 ダウンロード時に名前を付けて保存を行う操作 ・ edge://downloads/等の内部画面はXPathで操作できません。 そこで3つの方法があります。 ①デフォルトの位置にダウンロード後、目的の場所にライブラリで移動・リネームする 「ファイル一覧取得（ソート順あり）」にて最新のファイル情報を取得し、 「ファイル名変更」でリネームします。 ②ダイアログを直接操作する エミュレーションや画像マッチングで、ダイアログを直接操作します。 ③ダウンロードリンクを右クリックして「名前を付けて保存」を実施する 画像マッチングでダウンロードリンクを右クリックし、エミュレーションのキーボード操作(Kを押下)で保存ダイアログを表示します。 (参考資料をご用意しておりますので、ご参照ください。)
3	ブラウザ操作	WebDriverを利用したブラウザ操作時は「読み込み完了待ち」処理は無意味となるのか。 その場合、代替機能はあるか。（指定時間待機?）	記載いただいたように、WebDriverで操作しているブラウザは「読み込み完了待ち」ライブラリの対象とならず、読み込み済みと判定されて待機がされません。 代替方法といたしまして「指定時間待機」ノードでの待機、もしくは、「状態変化待機（要素）」ライブラリによるWebページの特定要素が表示されるまでの待機のいずれかをお試しください。

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/7/28開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
4	シナリオ設計	分岐や繰り返しや変数など、概念が難しくプロパティの設定にいつも苦勞します。 運用面では開発環境でできたことも実行環境で安定しないことが多いです。	【概念の理解のコツ】 ・ 変数 = 値を入れる「箱」をイメージしてください。 ・ 分岐 = 条件でルート分けするときに利用します。 ・ 繰り返し = 同じ処理をn回繰り返す時に利用します。 【開発機OK／実行機NG問題】 主な原因は環境差です。以下のチェックリストが有効です。 ① Windowsの表示倍率（100％／125％／150％）を揃える ② ブラウザとOfficeのバージョンを揃える ③ フォルダ構成・パス（ユーザー名依存の箇所）を揃える ④ 画面解像度・フォント設定を揃える
5	シナリオ設計	繰り返しや例外処理等の使い方が、若干理解できていない部分があるので、解説していただきたいです。	【繰り返し】 「繰り返し」 処理の実行前に条件判定し、条件を満たすときだけ実行します。 「後判定繰返」 必ず1回は実行し、それ以降実行するかは条件判定します。  条件を満たす場合、繰り返し  必ず1回実行し、それ以降は条件判定 【例外処理】 正常系に配置した部品でエラーが起きた場合に 異常系に遷移してシナリオの動作を続けることができます。  使用例)画像マッチングでエラーが起きたらメールで通知

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/7/28開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
6	シナリオ設計	繰り返しノードの前判定、後判定の使い分けがイマイチ分からない。	両者は、判定（条件チェック）を行うタイミングが違います。 繰り返し ：処理を実行する前に条件を判定し、条件を満たすときだけ実行します。 後判定繰返：必ず1回は実行してから、それ以降繰り返すか条件を判定します。 繰り返しノードの前判定、後判定は本質的にどちらをご利用になっても問題ないので、もし判断に迷うようであれば前判定だけをご利用されることをお勧めします。 繰り返しノードの前に繰り返し内容と同一の処理が必要となる場合にのみ後判定の利用を検討いただくのが分かりやすい手順となります。
7	シナリオ設計	エラー発生時にすぐ解消できず、結局手作業で対応するしかない。 何かいい方法がありますか。	・エラー時にリトライを組み込むと安心です。 ・Ver.7.5以降は「一時停止中にノード設定を修正して再実行」が可能です。 設定をサッと直して、シナリオを継続実行することができます。 エラーが発生したら異常系のノードを実行継続(リトライ) 
8	シナリオ設計	シナリオがエラーにより止まってしまった場合、アラート音を鳴らすことはできますか？または自席のPCにメッセージを送ることはできますでしょうか。	シナリオが停止してしまうとアラート音を鳴らすことができないため、 「例外処理ノード」を使い、エラー発生時に例外処理がおこなわれるようにする必要があります。 お客様のご希望は以下の構成で実現できます。 「例外処理ノード」(※)の「正常系」に止めたくない部品（本来の処理）を配置し、「異常系」にエラー時に実行したい処理を配置します。 ・アラート音を鳴らす → 「音」ノード ・自席のPCへメッセージを送る → 「Outlookメール送信」ノード（メールとして情報を送ることができます） ※正常系に配置したノードでエラーが出た場合に、異常系に配置したノードに遷移することができます。 参考ライブラリ 「02_エラー処理」>「エラー処理の例（音を鳴らす）」ライブラリ
9	トラブルシュート	<値の設定>で要素選択ができません。 （ハンズオントレーニングのP53 ライブラリ<23_ブラウザ関連>）	【原因と対処】 ブラウザ拡張機能の設定 「ファイルURLへのアクセスを許可する」がOFFになっている可能性があります。ONに設定を変更してください。

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/7/28開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
10	トラブルシュート	WinActor発生時のエラー対応、Excel転記操作の自動化 エラー発生時にすぐ解消できず、結局手作業で対応するしかない。	Excel転記についてはセミナー内で触れておりますので、 ここではエラー対応にフォーカスしてご回答いたします。 【エラー対応の基本手順】 ① エラーダイアログのメッセージを確認（原因の8割はここで当たります） ② 実行ログでエラー直前のノードとマッチ率・XPath等を確認 ③ 「画面キャプチャ（デスクトップ）」ライブラリを仕込んでおくと調査がさらに容易になります。 ④ Ver.7.5以降は「一時停止中にノード設定を修正して再実行」が可能です。 設定をサッと直して、シナリオを継続実行することができます。 ⑤ 「例外処理」ノードを活用してリトライ処理を組み込むと、エラーで止まりにくいシナリオになります。
11	トラブルシュート	Windows Update実行後に毎回Outlook起動がエラーになる。	・ Ver.7.1以降、下記のライブラリ改修を実施しており、これらを利用して改善する場合があります。 ① 「Outlookメーラ起動」のプロパティに「待機時間」を追加しています。 問題がある場合は、数秒の待機時間を指定してみてください。 ② 上記の「待機時間」の調整で状況が改善しない場合は、ウィンドウのフォーカス切り替えの方式を変更した「Outlookメーラ起動2」のライブラリをお試しく下さい。 ・ Windows Update後の端末の再起動もお試しく下さい。
12	トラブルシュート	画像マッチングがある日突然使えなくなる。 画面操作でエミュレーションのクリック等が使えなくなる。 ブラウザ操作でXPathが都度変わるサイトがある。	3つの現象それぞれ、原因と対処をご案内します。 1. 画像マッチングが突然使えなくなる （セミナー内 つまづきポイント徹底解説「2 エラー対処」Q13.参照） ・ ウィンドウ名の変更やOS/ブラウザのアップデートによるアイコン変更、解像度・拡大率の変化が原因です。 ・ 対処方法としては、ウィンドウ識別ルールの緩和、マッチ率を85～95%に調整、画面倍率100%に統一、画像検索範囲を限定する等があります。 2. エミュレーションのクリック等が効かない ・ 対象ウィンドウの準備ができていないことが多いです。 「ウィンドウ状態待機」や「指定時間待機」を前に入れて解決するケースが多くあります。 3. XPathが都度変わるサイト ・ XPath関数で「変化に強い指定」に置き換えます。 ＜参考＞変化に強いXPathの指定のコツ
13	OCR	需要がありそうな生成AI連携の画像認識（FAXで届いたPDFなど）の 具体的な操作方法について初心者向けにレクチャーしてほしい。	・ 画像認識は、Ver.7.5以降で搭載した「チャット応答取得」サブシナリオを利用します。 *本ノードは画像ファイル（JPG/PNG等）を入力とします。あらかじめ画像に変換してからご利用ください。 【基本の流れ】 ① 画像ファイルをフォルダから取得（「ファイル一覧取得」等） ② 「チャット応答取得」サブシナリオに、対象画像のパスとプロンプトを設定 （プロンプト例：「この注文書から品名・数量・金額を抽出し、JSONで返してください」） ③ 返却されたテキストを変数に格納し、Excelや基幹システムに転記 【デモ動画】 WinActor Ver.7.6 新機能動画シリーズ『画像認識AIの衝撃！紙媒体の活用に"新たな発見"を！』

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/7/28開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
14	運用・定着支援	何から行動を起こしていいのか分からない。	・「まず1本、身近な業務を動かしてみる」 ことが一番の近道です。 ・【スタートアップの3ステップ】 ① 自分の日常業務から「毎日15～30分」 行っている繰り返し作業を1つ選ぶ （例：Webから情報コピー → Excelに転記、定型メール送信） ② 自動記録で画面操作を録画 → そのまま動かしてみる ③ 動いたら少しずつ改良（変数化、繰り返し化、エラー処理、など） ・完璧を目指さず、「まず1つ試してみる」 ことを目標にしてください。
15	運用・定着支援	社内での普及が難しい、時間確保が難しいと言われる。 自動化に前向きになれるようにするには、どうすればいいのか。	・【市民開発推進のポイント】 ① 最初から完璧を目指さない 楽に作れて、効果を実感できる業務から着手 ② 一緒に取り組んで孤立化させない 現場丸投げにせず、成果を正しく評価 ・【時間確保の壁を越えるコツ】 ・「プチRPA相談会」を30分だけ設ける ・小さな成功事例を社内報／Teamsで可視化（時間削減の効果を数字で見せる）
16	運用・定着支援	現在作成中のシナリオについて、シナリオ単体のファイルサイズが約40MBとなっております。 このまま進めた場合、動作などで懸念される点はございますでしょうか。	・40MBは相当大きいサイズで、動作が重くなる恐れがあります。 ・対処策は以下の2点です。 1.不要になった画像・ノード・変数を整理すると容量を軽量化できます。 特にシナリオ内に大量の画像マッチング画像を含んでいる可能性が高いと考えられます。 (1) 画像は、「イメージ」タブの「未使用イメージ名削除」から未使用の画像を削除できます。 (2) ノードは、「シナリオフォーマットチェック」タブにて「浮遊ノード」のチェックを行うことで不要なノードを検査できます。 (3) 変数は、「変数」タブの「一括削除」から未使用の変数を削除できます。 2.サブシナリオに分割し、業務や機能単位のシナリオファイルに切り出すという対策もあります。
17	運用・定着支援	思い浮かぶ定型業務は一通り自動化したのですが、 もっと業務を自動化したいとなった際どんな所に着目して対応をしたら良いかアドバイスが欲しいです。 また、営業日だけ稼働をするといった、会社独自の稼働スタイルでシナリオを実行させる方法を教えてください。	・現場のお困りごとに着目し、それらを洗い出すことをおすすめします。 洗い出しを一緒に取り組むことで様々な課題が見えるようになります。 ・営業日だけ稼働するシナリオは、ライブラリ「平日・休日判定」を用いることで実現できます。 ①「定休日」欄に曜日を指定することで、その曜日を定休日と判定できます。 ②祝日情報を管理するファイルに、お休みの日を記載することでその日を休日として判定することができます。
18	運用・定着支援	・どのような利用例があり、どのような機能を利用してフローが組まれているのか、広く案内していただきたい。 ・部内でRPAで自動化できそうな業務は沢山あるが、どこから進めていけば良いのかが課題。他社事例等も確認して進めて行きたい。	公式ホームページにてお客様の具体的な事例情報を公開しております。 導入事例紹介 WinActor® 業務効率を劇的にカイゼンできる純国産RPAツール

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/7/28開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
19	運用・定着支援	Google WorkSpaceへの連携や他AIツールとの連携は可能でしょうか？ また活用方法についても教えていただきたいです。	・ Google WorkSpaceの操作を行うサブシナリオをご用意しています。 各部品の設定方法は「WinActor サブシナリオサンプル説明書」に記載しています。  ・ 現在、連携可能な生成AIツールは、以下の通りです。 1.Azure Open AI 2.OpenAI 3.Gemini
20	運用・定着支援	会社のP Cの仕様変更、サイトのI Fの変更の都度、微細な改修を要する点、対応のコツなどがありますか。	・ 頻繁な改修を減らすコツ 1. XPathは関数（contains()、text() など）を活用し、変化に強い指定にする ※本Q&Aファイル No.12参照 2. 画像マッチングは環境依存が強いため、可能な限りUI識別（XPath／自動記録）に寄せる 3. 変数・パス・URLは冒頭にまとめて外出しし、修正箇所を1か所に集約する 4. 端末の画面倍率・ブラウザバージョンをRPA端末で統一する運用ルールも効果大です。
21	運用・定着支援	Power AutomateとWinActorどちらで進めるのが適切か迷うことがあります。 WAの強みや向いている業務範囲を改めて教えていただきたいです。	・ Power AutomateとWinActorの強み ・ Power Automate M365・Teams連携などクラウドサービス間の連携（API/コネクタ）に強い。 ・ WinActor 画面操作/Excel操作/ブラウザ操作などのデスクトップ全般に強く、ユーザーフレンドリーなUIで初心者向け。 ・ 向いている業務範囲 WinActorはデスクトップで操作が必要なアプリの自動化に向いています。 また「PowerAutomateDesktopフロー実行」サブシナリオを提供しており、双方の良いところを活かした業務自動化を行うことができます。